

第1回学校関係者評価委員会評価

1	【学校の自己評価が適切かどうか】適切である（4） ・保護者だけでなく、生徒や保護者の声も聞いており良いと思う。 ・良い点・悪い点を理解している。 ・教育目標「天神山でよかった」へのアプローチが、ぶれていない点が経営方針に生かされていると思う。
2	【自己評価の結果を踏まえた今後の改善策が適切かどうか】適切である（3）少し不足がある（1） ・すべての結果を真摯に受けとめ、職員一丸となって改善しようという意欲がうかがえる。 ・改善策が思うような結果が出ないときは、また次の改善策を工夫しているのがよい。 ・分かる授業を実践し、繰り返し検証していただきたい。 ・評価規準がある程度明確になっており、具体的な改善策が明記されている。 ・重点的な取組目標の(1)(2)に対しては、もう少し足りないと思う。
3	【自己評価の項目（観点）が適切かどうか】適切である（3）不足がある（1） ・時代に合った必要な項目やポイントがあればよい。 ・点数だけでなく、学力向上に関しての考察があるともっと良い。なぜ学力層がDEなのか。 ・学力向上のための具体的な事項の1つである「学校が楽しい」と認識される自己肯定感、自信、心の満足を促進させるプログラムに、もうひと工夫があれば、より良くなると感じた。特に、心の満足が得られるには、学校・家庭・地域すべてが連携しなければならない。
4	【教育活動や学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか】適切である（4） ・一人一人に合った学習方法が見られ良かった。 ・学習面だけでなく、人としての育ちを大事にしているのは、意欲にもつながり将来地域にとって頼もしい。 ・学校運営に関してうまくいかないものは、修正をしてほしい。 ・学力向上も大事だが、安心安全で楽しい学校づくりに継続して行ってほしい。 ・心の満足が得られるには、どの指標を設定すべきかを検討してもらいたい。 ・生徒・保護者・教職員・地域との情報共有の在り方、天神山小学校独自の強みを更にブラッシュアップしてこそ、安心、安全で「天神山でよかった」という目標へのベクトルが向上すると思える。 ・給食のメニューや残飯などについて市と話し合ってもらいたい。

第2回学校関係者評価委員会評価（ゆずり葉祭）

1	【ゆずり葉祭の感想】 ・震災後であり児童の様子が気になったが、ゆずり葉での姿は表情も明るく楽しんでいたようにうかがえた。 ・どの学年も児童のアイディアが見られた。 ・卒業生一人一人にスポットを当て、全員が主役になっていた。 ・先生たちも盛り上げようと一生懸命さが伝わってきた。 ・能登半島地震で被災された状況でゆずり葉祭が実施されたことは、大いにありがたいことだと思いました。児童達の元気な姿と明るい姿勢を見ることができ元気をもらいました。何より実施できたことが全てです。
---	---

